GGG



第15回　奥 克彦メモリアルカップ
プログラム









Oku Memorial CUP





第15回 奥 克彦メモリアルカップ　スケジュール

1 日時　　令和8年11月22日（日）　9:00 ～ 15:00
　会場　　兵庫県立伊丹高校グランド
　　雨天などの中止の場合は7時00分に各スクールに連絡いたします。

2 招待チーム
【中学生】 伊丹ラグビースクール　　箕面ラグビースクール
　　茨木ラグビースクール　　川西市合同ラグビースクール
　　トライアローズラグビークラブ　　（川西市RS、甲子園RS、播州RS）

3 プログラム 試合時間は**20分**　試合間のインターバル時間は**2分**で設定しています

時間　9:00	**開会式** 【式は10分程度で終わり 9:20まで試合前練習】			
【新チーム(1, 2年)での試合とさせていただきます】				レフリー
9:20	伊丹RS	vs	川西市合同RS	伊丹RS
9:42	トライアローズRC	vs	箕面RS	トライアローズ
10:04	茨木RS	vs	伊丹RS	茨木RS
10:26	箕面RS　B	vs	トライアローズ　B	箕面RS
10:48	川西市合同RS	vs	トライアローズRC	川西市RS
11:10	箕面RS	vs	茨木RS	箕面RS
11:32	伊丹RS	vs	トライアローズRC	伊丹RS
11:54	茨木RS	vs	川西市合同RS	茨木RS
12:16	トライアローズ　B	vs	箕面RS　B	トライアローズ
12:38	箕面RS	vs	伊丹RS	箕面RS
13:00	トライアローズRC	vs	茨木RS	トライアローズ
13:22	川西市合同RS	vs	箕面RS	川西市RS
13:50	ゴールキック大会			
14:20	表彰式			

※ Bチームの試合は交流試合といたします
※ 4試合の勝敗にて順位を決定し、勝敗の同じ場合は、得失点差の
　一番大きいチームを 優勝チームとさせて頂きます。

4 諸注意
①各スクールスポーツ安全保険等の加入をお願い致します。
②トイレは、子供たちは体育館下のトイレのみ、保護者用に緑創会館トイレを解放します。
③校内における交通事故、盗難、ゲーム中及びゲーム外での怪我等に関しては学校、
　ラグビー部は一切責任をもてません。
④校内は完全禁煙とします。校外の喫煙所を使用下さい。
⑤レフェリーは指定のチームからタッチジャッジは伊丹高校ラグビー部員が行います。
⑥ゲーム前のアップはグランドの空きスペースを使用ください。
⑦ゴールキック大会は任意にプレスセットされた5個のボールに対し、チームより選出された
　人員5名で、5分以内にゴールキックを蹴り終え、ゴール成功数を競います。
　　※ 参加方法（ A,B別及びスクール別）はおまかせします
⑧駐車台数に制限がありますので各スクール様 6台に制限させて頂き、カウント致します。
　6台を超えた場合は、入場をお断りする場合がありますのでルール遵守でお願い致します。

保護者会による模擬店を実施いたします　　是非ご利用ください。
※伊丹高校生及びOBは皆さんの案内役を務めさせて頂きますので、気軽に話しかけ下さい。

GGG（Green Great Gentleman）について

1949年創設された県立伊丹高校ラクビー部のハンドルネーム
緑ヶ丘のG（母校愛の象徴）、偉大になれのG、紳士のGであり
この3Gに紳士・淑女の気品と行動、未来に大望を託する
不屈の闘志と校風発揚の願いがこめられている。
現在もユニフォームには伊丹高校の表記はなく、
GGGとのみ記されている。



創部当時のラグビー部

沿革

昭和23年（1948）兵庫県立伊丹中学校と兵庫県立伊丹高等女学校
の二校を統合し、共学の県立伊丹高等学校として発足
24年（1949）ラグビー部創部
チームカラーを緑ヶ丘のグリーンとし、
Green Great Gentlemanをハンドルネームとした。
36年（1961）県大会優勝（第41回全国大会出場）
37年（1962）県大会決勝進出（2年連続決勝進出）
40年（1965）クラブハウス竣工（現クラブハウス）
49年（1974）第23回近畿大会出場
49年（1974）県大会優勝（第54回全国大会出場）
53年（1978）県大会決勝進出
平成2年（1990）第41回近畿大会出場
13年（2001）創立100周年記念館（緑創館）竣工
20年（2008）菅平合宿開始
21年（2009）ラグビーカーニバル開催開始
創部60周年記念パーティ開催
22年（2010）県大会準決勝進出
奥メモリアルカップ開催開始
24年（2012）第63回近畿大会出場
阪神リーグ1部昇格　県大会準決勝進出
25年（2013）阪神リーグ1部 2位
27年（2015）英国 パブリックスクール St. Paul's Shoolと交流
28年（2016）阪神リーグ1部昇格　県大会ベスト8
令和元年（2019）Rugby World Cup Japan 開催
創立70周年記念パーティー開催
令和5年（2023）英・オックスフォード大学来校
県大会ベスト16
令和8年（2026）単独チームでベスト16



第41回全国大会
（西宮グランドにて）



第54回全国大会
（花園ラグビー場にて）



エディ・ジョーンズ氏来校

第63回近畿大会出場
（花園ラグビー場にて）





St. Paul'S School
との交流会（菅平）



70周年パーティ



オックスフォード大学ラグビー部との交流会



現在の部員（菅平合宿所にて）
選手16名＋マネージャー4名
総勢20名
★「Keep the Itami Boys going please
Eddie」

奥　克彦について（GGG 28回生）

昭和33年宝塚生まれ。
早稲田大学を卒業後、昭和56年に外務省に入省。英国において研修し、イラン、米国での日本大使館勤務の他、国際経済第一課長、国連政策課長などを歴任した。平成15年４月に、在英国大使館参事官としての肩書きを有したまま、イラクに長期出張。イラクの復興に向け、取り組むこととなった。
氏のイラク復興にかける強い使命感と情熱は、事件の直前まで書き続けていた『イラク便り』に如実に現れている。同年11月29日、イラクのティクリート付近で被弾し、逝去。大使に昇任。

彼はラグビーを深く愛していた。兵庫県立伊丹高校時代には全国大会出場を果たし、早稲田大学でもラグビー部に所属。留学先のオックスフォード大学では、日本人で初めてラグビー部の１軍選手となる。その後も日本ラグビー協会役員となり、日本と世界のラグビー協会の橋渡しにも尽力した。

オックスフォード大学のクラブハウスには彼の写真が「戦死者」として飾られ、オックスフォード関係者から、その４５年の生涯をリスペクトされている。

ラグビーワールドカップ2019

奥克彦さんは早稲田大学ラグビー部で活躍後、外務省に入省し、オックスフォード大学への留学なども経験。その豊かな国際人脈やラグビーを通じた縁を使い周囲に「日本でラグビーワールドカップをやろう」と熱く語っていました。
早大ラグビー部の先輩にあたる森喜朗元総理は奥君が官邸に来るたびに「ワールドカップをやろうと言っていた」と言われていました。
紆余曲折を経て、日本ラグビー協会の町井徹郎会長（2004年没）に伝わり、やがて会長を継いだ森さんご自身が招致活動の先頭に立つことになり、2019年の日本開催という悲願に結実しました。



井ノ上 正盛 氏について

昭48年宮崎県都城市生まれ。
熊本大学卒業後、1996年に外務省へ入省し、在イラク大使館三等書記官となる。
三等書記官として赴任したイラクにおいて、平成15年11月29日、奥克彦参事官とともにイラク戦争後の復興支援活動などの職務を遂行のため、車で移動中、銃撃を受けて殉職。30歳没。
同日付で、従七位に叙され、旭日双光章受章。

昨日(26日)、在イラク大の井ノ上書記官（在ヨルダン大兼任）がクウェートから陸路、到着しました。
私がクウェートからバグダッドに来たルートと少し違ったためか、時間がかかったようです。
日本人の仲間が来てくれるとなんだかホッとします。
東京では、今後もORHAを通じた人的協力を続けると聞いています。心強い限りです。
奥克彦 イラク便りより

亡くなってすぐに母校の都城市・上長飯小学校の校庭に当時の校長らによって桜が植えられた。



平和の木「井ノ上桜」
（上長飯小学校）



「井ノ上桜」への誓い

飢えの苦しむ人々に、少しでも
できることを していかなかくては
いけないと、ぼくは思いました
（井ノ上正盛氏の小学校5年 文集より）

私たちは、井ノ上さんの意見を継承し、世界の平和の希求者であり続けることをこの桜の木に誓います
（平成16年3月25日　第94回卒業生一同）



奥克彦記念碑と記念樹
（伊丹高校グランド）

23年たった今、この大会がもう一度命の大切さを考える機会になってくれる事を望みます。

Katuhiko Oku Cup

「スポーツを実践することは、真心と思いやり、なによりも【人間尊重の精神】を養うことであり、そのためには、フェアープレーの価値を高めなければならない」
（近代オリンピックの創立者クーベルタン卿の言葉）



第1回記念ストラップ

この精神こそが、ラグビーの精神であると考えます。

この精神に則り、素晴らしい結果を出した中学生チームに毎年『Katuhiko Oku Cup 』を贈呈しています。

2010年から開始してコロナや雨などで中止がありましたが、今年で15回目の開催となりました。



スポーツマンシップ
ゲーム中に交代させられた選手が、まだできるのに！とふてくされた態度を示すことがあるが、コーチはこれを決して許してはいけない。
「交代で入る選手への尊重（思いやり）」を欠いた態度が「スポーツマンシップにもとる」と、理由を説明して注意を行うようにする。交代を言われたら次に交代で入る仲間に「頑張れよ」と励ますこと　これが「仲間への尊重」なのです。　　「アメリカのジュニアのためのサッカークリニックより」

尊重とは、「理解」し「判断」し、その「価値」を認めることです。立場の違いを理解し、価値を認めることが尊重することなのです。スポーツにおける尊重の対象は、（1）相手　（2）　審判　（3）ルールの3つであり、これらのどれ一つを欠いても、ゲームは成立しません。スポーツマンシップとは「尊重」であり、スポーツを成立させる最も根源的な概念です。



ゴールキック（コンバージョンキック）の意味
トライは、〝try〟（試みる・挑戦する）という意味の通り、創成期のラグビーでは敵陣のインゴールでボールをグラウンディング（地面につける）してもそれ自体は0点でした。その代わりに、「ゴールへキックをトライ（挑戦）する権利」が与えられたため、その着地地点を「トライ」と呼ぶようになりました。
トライした後に蹴るゴールキックが決まって初めて得点になることから、「トライの権利を得点に変換（コンバージョン）するキック」という意味でコンバージョンと呼ばれるようになりました。

OKU MEMORIAI TROPHY（奥 記念杯）

2005年11月、ロンドン・ジャパニーズRFCとキュー・オケーショナルズRFCは、奥さんのイラクでの死から2年後、毎年恒例の試合を捧げられています。





あの出来事から長い年月が経ち、「奥記念トロフィー」を懸けたラグビーの試合は、ロンドンでの恒例行事となっています。
今年も11月14日に開催されます

早大・オックスフォード大時代からの親友である英国人レッジ・クラーク氏が、長年にわたる奥記念杯の継続や日英の友好親善への貢献により、日本政府から旭日双光章を受章されています。



このご縁で2025年にオックスフォード大学の2nd XVにあたるグレイハウンズ(Greyhounds)さんが県立伊丹高校に来校されました

県立伊丹高校ラグビー部歌

作詩　佐伯　鶉治　　作曲　犬伏　　清

1 緑ヶ丘に空高く
楕円の球のおどるとき
紅血燃えて乱舞する
伊高ラガーの顔は
不撓の色に映ゆるかな

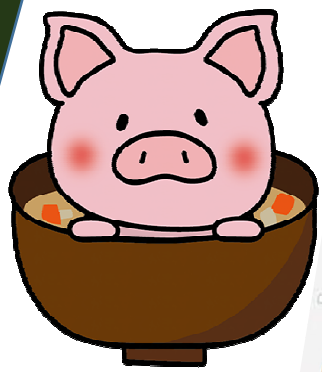
2 秋校庭に霜くだき
朔風捲いて疾駆せば
闘魂胸にあふれきて
盟はかたく感激の
覇業の道をいざ行かん

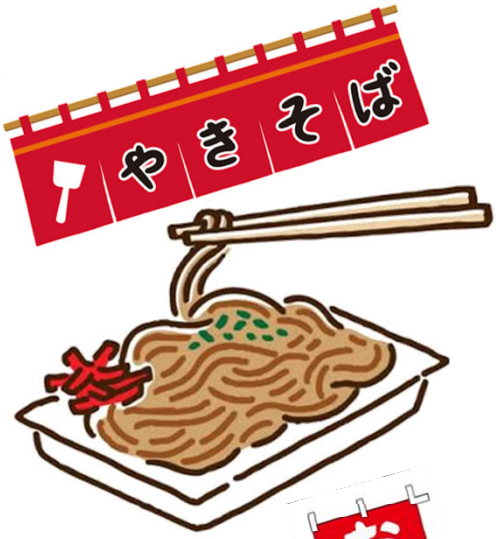
3 戦の日ぞ気は勇む
敵狂瀾に猛るとも
わがスクラムは不壊の樽
ラインの攻撃鮮かに
百戦常にわれ勝たん

ITAMI H.S. RUGBY

奥メモリアルカップ
模擬店開催のお知らせ！

開催日：2026/11/22（日）





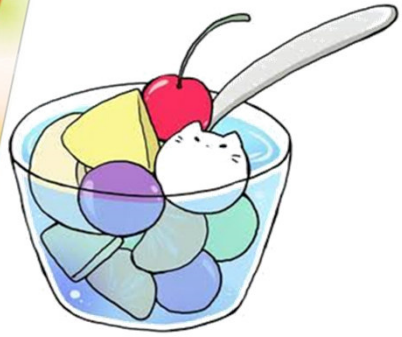












ぜひ！

ご利用ください

GGG保護者